

文部科学省留学生壮行会及び元日本留学生との交流レセプション

3月16日、プノンペンのサンウェイ・ホテルで日本大使館主催「渡日国費留学生壮行会兼元日本留学生との交流レセプション」を開催しました。

このレセプションは主賓にイム・セティー教育青年スポーツ大臣をお招きし、新たに渡日する留学生、元日本留学生会（Japan Alumni of Cambodia : JAC）会員、その他の元留学生、日系企業関係者、JICAなど、合計100名以上が参加しました。

式典では、まず黒木大使から、1992年のカンボジアでの国費留学生募集開始以来最大の合格者数となった新規留学生28名に対して激励の言葉を述べました。続いて、イム・セティー大臣と元日本留学生会代表からも祝辞と激励が述べられ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



新規留学生代表のホン・ソクンテヴィさんからは、難しい試験を勝ち抜いて奨学生に選ばれた喜びを語るとともに、日本への留学後カンボジアにおいて重要な役割を果たしている先輩と同じように、自分たちも将来は帰国してカンボジアの発展に貢献し、日本とカンボジアの絆になりたいという力強い言葉が述べられました。

続いて記念撮影が行われ、会場は懇談へと移り、和やかなひとときとなりました。

今回の留学生28名は、4月1日以降順次渡日し、コースにより3年から6年の日本留学を予定しています。

